



すべての会派の意見が反映できる議会に

日本共産党 9名 議員14名が共同提案
少数会派 5名

自由民主党 公明党 民主党 各会派代表者各位

平成27年5月21日

大田区議会議員

荒尾大介 大竹辰治 荻野 稔 金子悦子 北澤潤子 黒沼良光 佐藤 伸
清水菊美 菅谷郁恵 奈須利江 野呂恵子 福井亮二 藤原幸雄 三沢清太郎

(50音順)

要 望 書

私たち超党派の議員は、大田区議会の民主的な運営に関わり、特に以下の点について要望いたします。

少数意見の尊重は議会制民主主義において欠かせないものです。大田区議会自ら改革につとめ区民の信託にふさわしい議会であるために、議論を尽くされ実現に努力されるよう要望いたします。

記

1. 代表者会議、幹事長会、議会運営委員会における議論には少数会派を含め、すべての会派の意見が反映出来るようにすること。
2. 役職選出にあたり委員会の正副委員長、理事、付属機関委員については会派議員数に応じて選出し、交渉会派以外についても適宜配分すること。
3. 本会議、予算、決算特別委員会での質問のあり方を検討し、議員の発言の自由を最大限保障すること。
4. 一人会派の質問時間年40分、二人会派の同80分の定例会毎の割り振りについては個々の裁量に委ねること。

以上

日本共産党大田区議団（党区議団）は、新議会のスタートにあたり、地方自治法の精神にたち大田区議会がその役割を發揮するため、少数会派も含めすべての会派の意見が反映できる議会にすることをはじめとした「大田区議会における議会運営についての提案」を、会派代表者会議の開会冒頭に行いました。

その後、党区議団は5月12日、公正な議会運営について、少数会派と懇談しました。21日に、懇談で確認した内容を要望書にして、日本共産党区議団9名と少数会派5名、合計14名が連名で、自民・公明・民主の会派代表者宛に提出しました（左に掲載）。

しかし、改選後の議会運営の大枠を決める各会派代表者会議では、自民・公明・民主の各党が、これらの提案・要望を受け入れず、22日から開催された臨時区議会で、議長・副議長、監査、各委員会の委員長・副委員長などの議会役職をほぼ独占するという、異常な議会運営を強行しました（裏面参照）。

先の区議選で選ばれた区議会議員は、区民の代表としての良識を發揮し、議会役職は議席数に応じて配分し、区民に開かれた民主的議会運営に立ち返るべきです。

議席数に応じた役職配分で

多様な区民の声が届く大田区議会に

第3党の日本共産党は役職ゼロ

大田区議会は8年前までの60年間、会派の議席数に応じた役職配分を各会派の合意によって円滑な議会運営を進めてきたという歴史がありました。その後の2期8年に続いて今回も委員長・副委員長は一部会派の密室協議で決められたかのように受け取られかねない異常な議会運営となつていきます（左表参照）。

正副委員長の配分

会派の議席数に応じて配分した場合		会派名	今回の配分		
副委員長	委員長		議席数	委員長	副委員長
2	2	日本共産党	9	0	0
4	4	自民党	16	6	4
3	3	公明党	12	3	4
1	1	民主党	5	1	1
0	0	次世代の党	1	0	1

党区議団の所属委員会

5月22日に行われた臨時議会で、党区議団の所属委員会が左記の通り決定しました。

総務財政委員会	清水菊美	地域・産業委員会	藤原幸雄	保健福祉委員会	大竹辰治	都市整備委員会	黒沼良光	こども文教委員会	すがや郁恵
スポーツ・観光推進特別委員会	黒沼良光	交通・臨海部活性化特別委員会	すがや郁恵	羽田空港対策特別委員会	清水菊美	防災・安全対策特別委員会	大竹辰治	議会運営委員会	清水菊美
大田区議会	福井りょうじ	大田区議会	藤原幸雄	大田区議会	金子悦子	大田区議会	大竹辰治	大田区議会	大竹辰治

日本共産党大田区議団ニュース

2015年6月号外 ご意見・ご要望をお寄せください

大田区蒲田5-13-14 大田区役所内

Tel 03-5744-1477 FAX 03-3730-3447

<http://kugidan.jcp-ota.jp/> E-mail kugidan@jcp-ota.jp